

法人会ニュース

そろそろ

第14号

発行所
相馬市中村字桜ヶ丘71
(社) 相 双 法 人 会
発行人
酒 井 利 治
編集
広報委員会
発行日
平成12年12月20日



支部自慢コーナー

⑭ 葛尾村

こでや 小出谷の紅葉

国道一一四号線、浪江町大柿地区より県道五〇号線が分かれて葛尾村に入る時に越える坂が小出谷の坂です。(因みに浪江分は小伝谷という地名になります。)

新緑、紅葉、雪と四季折々素晴らしい景観を見せながら葛尾村に入る、まさに葛尾村の玄関口です。四方を山に囲まれた葛尾村には素晴らしい景色があちこちに広がっておりますがやはりここ小出谷の坂が一番です。

昔も今も交通の難所であることに変わりありませんが、全面舗装、カーブも改良され大分運転は楽になりました。特に枯れ葉が舞い落ちる紅葉の時期は感動の連続です。ただし、運転はくれぐれも慎重に！何しろここ葛尾村は昭和四十年二月以降、交通死亡事故ゼロ連続一万三千日という偉業を続けている村なのですから。

毎号の表紙は、各支部の自慢の風景・祭り等を掲載して紹介します。

「税を知る週間」

11月11日(土)、原町・浪江地区の「小学生の税の習字展」から始まり一週間にわたり「税を知る週間」の行事が実施されました。13日には、国税モニター座談会、15日には、納税表彰式など、国民の皆さんに「税」を理解していただくよう毎年この時期に行われています。

法人会関係行事としては、11月14日(火)、相双優良法人懇和会の総会が開催されました。来賓として相馬税務署から菊地署



相双優良法人懇和会通常総会

長、栗田統括官、渡部総括席官、東北税理士会より、秋保相馬支部長のご臨席をいただきました。酒井会長が議長となり、提出議案の11年度収支決算・12年度収支予算(案)承認の件、いずれも原案どおり承認され円滑な議事進行のもと終了致しました。

続いて、優良法人の座談会が開催され、軽油引取税・相続税・消費税などに関する様々な質問が出され、税務署幹部の方より、適切なアドバイス・回答をいただき、税に対する理解を深めることができ予定時間を上回る座談会でした。

また、今年度(七月より)の法人税調査事務運営並びに、優良申告法人制度について次のようにお知らせがありました。

◆第一グループ
申告内容・納税実績良好な法人

◆第二グループ
第一・第二以外

◆第三グループ
不正計算、取引先不正に加担した企業、重点調査業種など

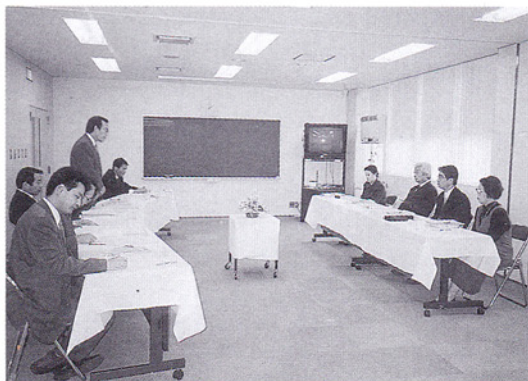
○優良申告法人制度について
優良申告法人の選定では、所得基準や税務行政に対する理解度などを参考に選定し、来年以降に授与される表敬状からは、対象事業年度分が明記され、また法人税だけでなく消費税も加わることになりました。



浪江地区「税の習字展」11月11日～



納税表彰式11月15日



国税モニター座談会11月13日

第4回会員親善 ゴルフ大会

2000年11月17日 (金)

去る11月17日(金)、第4回会員親善ゴルフ大会が、鹿島カントリークラブに於いて開催されました。

63名の参加申込みをいただきましたが、あいにくの雨模様のため50名でのスタートとなりました。

8時30分より南コースバックティグランドに於いて、開会式と始球式の予定でしたが雨のため開会式のみ執り行われ、酒井会長挨拶のあと、続いてルール説明、写真撮影を終え9時予定通り各ホールに分散してスタートしました。



トしました。お昼近くには、雨も小降りになったかには見えましたが、ホールアウト時には、雨足が強まり、スコアカードに書く手が冷たさにかじかんでいる様子が印象的でした。

プレー終了後、表彰式が執り行われ、優勝からB・M賞まで、酒井会長と松本研修委員長より賞品が手渡されました。



優勝カップの贈呈 “田代さんおめでとう”

今回のゴルフ大会は、晴天の中で、今回参加された方々とお友達お一人をお誘いの上100名の参加者で開催されることをお願い申し上げ、来年を楽しみに解散致しました。

なお、コンペの結果はつぎの通りです。

【個人】

▼優勝 田代誠信 (相馬中村神社)

▼準優勝 桜井道義 (桜井興業(株))

▼第3位 早坂丈夫 (南サントップ)

▼第4位 新川久幸 (あぶくま信用金庫)

▼第5位 泉田 隆 (株) 泉田組

▼敢闘賞 猪狩広安 (株) 猪狩商店

▼シニア賞 菅野 惇 (資万正商事)

(敬称略)

【団体戦】

▼優勝・相馬支部 (287)

▼準優勝・浪江支部 (299・4)

▼第3位・小高支部 (299・8)

※賞品ご提供いただいた各社に對しまして心より、御礼申し上げます。



委員会だより

◆組織委員会

委員長 泉田 隆

相双法人会としては初めての入会キャンペーンを七月八日より行い、各支部長さん始め役員の皆様方には大変御世話になりました。

お陰様で一二三社に入会していただきましたが、残念ながら四八社が退会となり純増は七二社になりました。加入率も五二%、五四%と上がりましたが県内十法人会中依然として最下位で有ります。

今回のキャンペーンにおいて法人会に加入してメリットは？とよく言われますが、税の講習会、研修会、税務署との懇談会、異業種の交流等々、他から手を差し延べられるのを待つのではなく、自分から一歩踏み出せばいくらでも輪が広がってゆきます。

又、個々の法人では何を言っても届かない意見が全法連の意見となれば相当大きな力となる。



り、自分の知らない所で相当の恩恵を受けているものと思えます。

その恩恵をもっと大きくする為にはまず組織率で有ります。県平均の60%を目標に、今後も皆さんの力をよりいっそうお借りしたいと思えます。

年末年始は大変お忙しい時期で有りますが、忙しい時程人に会うわけですので、その分チャンスも増えます。十二月からの新規加入キャンペーンを第二弾として御協力下さいますようお願い申し上げます。

◆税制委員会

委員長 高野 建夫

中堅・中小企業の活性化なくしては経済の活力回復、二十一世紀への明るい展望は開けないとした、「平成十三年度税制改正要望全国大会」が、十月六日、東京の日本青年館で開かれ、全国から千三百名の会員によって「決議」「基本事項」「要望事項」が満場一致で採択された。

今年度のこの大会には私の他、女性部会の副部長吉岡順さんが出席いたしました。

今年の要望の特徴は、閉塞状況にある日本経済改革の事、長年日本経済を支えてきた中小企業の自助努力に十分な配慮を求めつつ、中小法人の所得課税の軽減、同族会社の留保金課税の廃止、個人所得税の課税最低限の引き下げと税率構造の見直し、中小企業の事業承継が円滑に行われるよう特段の措置をとること等を求めている。

なお採択に先立ち、加藤寛千葉商科大学学長による「二十一世紀における税制のあり方（政府税調中期答申を踏まえて）」



と題する大変理解しやすい講演がありました。

我が国は少子・高齢化の急速な進展により、国・地方合せて六百四十五兆円に上る膨大な財政赤字を抱えており、その解消の為、歳出の節減と効率化、国・地方を通じた行財政改革が緊急の課題であり、その成否の行方は全て今後にかかっているという講演内容は、特に印象的でありました。



◆研修委員会

委員長 松本 定雄

二千年ミレニアム・いよいよ年の瀬も押し迫ってきました。過般七・八月、総務委員会・組織委員会のご努力により相双法人会全体で一三社の会員増強をみる事ができました。まさに画期的な成果でした。その際、新会員の方々から加入メリットについてのご質問が多々ありましたので研修委員会では、これに少しでも答えようと、『新会員による税務懇談会』を相馬税



務署の多大なご協力のもと税務署内で十月下旬、三つのブロックに分けて実施しました。先ず酒井会長が挨拶のあと、法人会組織と事業活動について研修委員長の私が概略説明を行い、菊地署長さんには東北六県、福島県の税務署と税金関係について、また相馬税務署の概況などについてのお話があり、栗田法人課税第一部門統括官には法人課税部門の役割について、特に調査の時に私達がぜひ知っておきたい大事なポイントについて大変になるお話をいただきました。

コーヒータイムのあとは質疑応

答と懇談会となり大好評のうちに終了しました。今後は更に会員の皆様のご要望にお答えするよう努めて行きたいと考えております。今後共よろしくご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

◆厚生委員会

十月五日、平成十二年度相双法人会第二回厚生委員会が開催されました。

根本厚生委員長から開催のご挨拶があり、次に厚生制度受託会社の大同生命、AIU、アメリカンファミリーの担当者より制度の推進状況・推進方法についての報告、制度内容の説明がありました。

続いて支部の役員・厚生委員会の方々に、

一、今回作成した十分間ビデオ「役員退職金を上手に準備する方法」を見てもらうこととで推進したい。

二、会員企業に見て頂ける様に、一声掛けて頂きたい。

三、役員様の加入率を県内単位で第一位となる様ご協力をお願いいたします。



との大同生命のお願いがありました。

また、委員の方より、どの会員企業に声を掛けていいのか見当がつかないので、加入状況について対処してほしいとの意見があり、加入状況資料と紹介状を作成することなどを含めお互いに協力していくことで委員会は終了しました。

現在、役員、委員の方々には未加入企業へ推進員との同行や、電話を掛けて頂く事で協力を頂いており徐々に成果も上がっております。今後も引き続きご協力の程お願いいたします。

支部だより

鹿島支部

「視察研修会開催」

鹿島支部では、今年度も会員親睦と情報交換を兼ね十一月十七日～十八日の二日間、支部視察研修会を行った。今年度はマルチメディア時代への理解を深めるべく、会津大学を訪れた。

内容は大学の構内見学及びマルチメディアセンターでの体験学習であった。係の方々から図書館やLIM教室を見せていただいたが、最新の設備が整っており最高の環境で学ぶ学生たちがうらやましく思えた。

ちなみに会津大学の学生は求人倍率が三十倍を超えているとのことであり、最近の就職難の世相からは考えられない就職率の高さといえるのではないかと感じた。

一方マルチメディアセンターでは3Dやインターネット体験をすることができ、参加者も新時代の映像に関心を示していた。



参加者は十一名と少なかつたものの、ひじょうに有意義な研修となった。

町支部

「法人会加入

勸奨実施」

(社)相双法人会組織率の低下といったことは、当支部としては頭の痛いところでもあるし、又他支部の皆様へご迷惑をおかけする結果ともなっている。

勿論、機会ある毎に加入勸奨はしているものの、なかなか実を結ぶまでにはいたっていない

のが現状である。

このような状況下法人会あけて加入キャンペーンを実施ということになり、各支部ごと数値目標が設定され、当支部では100社の加入を目指すこととなった。

これを受けて支部役員はもとより今回は、市内で開業されている各会計事務所の先生方・職員の方にも協力を願ひ、目標には程遠いものの、お陰様で23社加入していただくこととなった。勸奨のうえでは、やはりメリットについてが一番の問題ではあった。税制改正には組織率が問題とか、税に関する勉強会の開催、又情報誌の提供等々の説明はしても、いまひとつ相手にはひびかないといったところが実態である。

いずれにしても、目標達成までさらに皆様のご協力をえながら、引き続き加入勸奨をおこなってまいりたい。



高小支部

「支部ゴルフコンペ開催」



小高支部親善ゴルフコンペを十月二十一日開催いたしました。今回は二年ぶりに開催するということもあり、十五名が参加。前日までの雨が嘘のように晴れ渡り、心地好い汗をかいておりました。

今回のコンペは、本部コンペ参加者を決める予選会と位置付けられておりましたので、参加者全員？ベストプレーを心がけておりました。

さて、結果はと言いますと、全員が日頃の実力を発揮され、まずまずの成績に満足げでありました。

何はともあれ、開催目的の会員の親睦が図れ、有意義な一日を過ごしました。

岡部 富支

「Eコマース講習会 開催」

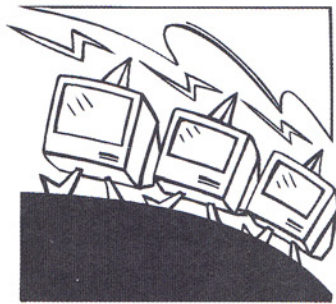
新聞・雑誌等で最近良く目にする「企業のIT化」「インターネットビジネス」は、誰しもが関心を持っているが、実際に活用している方は少ない様に思われる。

Eコマース（電子商業取引）は企業間の価値連鎖を再構成し、競争のルールを変えることが出来、新たなビジネスチャンスを生む可能性を秘めている為、Eコマースの仕組みを学び、各会員の経営の幅を広げてもうろうことを目的とし、今回開催に至った。

講師には、郡山市で地域密着型ショッピングモール「郡山ネット」を開設なさっている渡部幸子さんを招き、まったくの初

心者にも理解出来る様に、Eコマースの導入方法から、現在の業界を取り巻く状況及び、今後の展望について国内外の実例を挙げながらきめ細かな解説を行って頂いた。

約二時間の講演であったが、出席者は、第三次産業革命とも言われるEコマースを理解する為熱心に聞き入っていた。



10分でわかるビデオシリーズ

ドラマ編

相双法人会では会員の皆様に、下記の3種類のビデオの無料貸出を実施致しております。

1. 役員退職金の上手な準備方法

退職金を受け取ったときの個人にかかる税金は？など

2. 経営者の労災問題と対策

経営者は社会保障などの法的保護が意外と少ない？など

3. 従業員の労災問題と対策

安全配慮義務とは？など

※なお、このビデオは厚生制度受託会社である大同生命にて作成されたものです

無料貸出中

連絡先

社団法人相双法人会事務局

TEL.0244-36-5754 FAX.0244-36-8944

◆はじめまして◆

相馬税務署 法人課税第一部門

統括国税調査官

栗田 啓二



社団法人相双法人会の会員の皆様、相馬税務署法人課税第一部門統括国税調査官の栗田でございます。よろしくお願いいたします。

本年七月に白河税務署から着任して半年余りになり、職場・地域環境にも慣れて来た所です。相馬税務署での勤務は初めてでございますが、相双地区は人情味があり、また法人会も、酒井会長はじめ役員の皆様の強固な結束力のもと、積極的な会活動を行っていることに對し、大変心強く思っております。

さて、私の故郷は山形県の新庄市で、現在は妻子を仙台に置き、単身赴任しておりますが、大変温暖な気候のため快適な生活をさせていただいております。

ところで、現在管理者の立場で仕事をやっているところですが、野球評論家の故鶴岡一人氏が挙げ

ている「一流の指導者に必要な五つの条件」をベースに部下の指導に努力しているところですので御紹介をさせていただきます。

一、「ウェットな看護婦になれ」

ケガをしたり悩みにぶつかっている選手には、看護婦の気持ちで接する事が大事である。

二、「聴く耳を持った親父になれ」

頭ごなしに怒鳴るのではなく、まず十分に話を聴いて後で助言をする姿勢が必要である。

三、「心理学者になれ」

選手がどういう精神状態にあるかを常にチェックできなければならぬ。

四、「家庭教師になれ」

小学生の家庭教師のように、基本をわかりやすく納得するまで反復して教えること。

五、「交通巡査になれ」

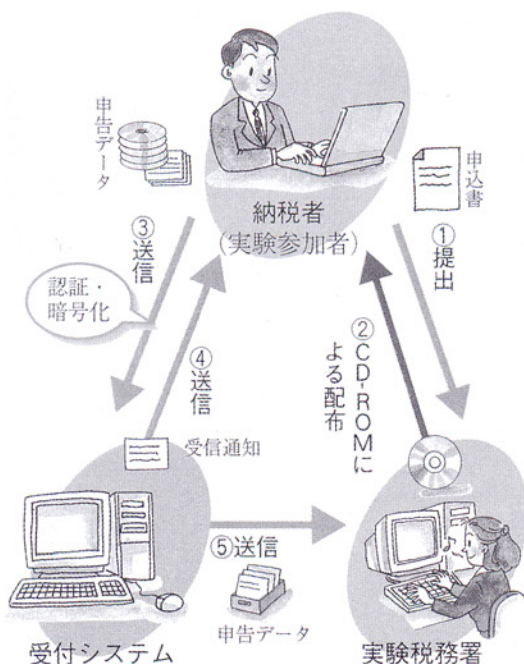
赤信号で進んでダメなわけで、交通整理の善し悪しが勝負をきめることになる。

◆電子申告ってなに？

納税者の方が納税申告の手続を行う場合には、納税申告書を税務署に提出しなければなりません。電子申告が導入されれば、書面による申告書の提出に代えて、パソコンなどで作成した電子データをインターネット等の通信回線で送信することによって納税申告の手続ができるようになります。

〈導入に向けての電子申告実験スタート〉

電子申告実験のイメージ



青年部 「全国大会を 終えて」

部会長 半谷 嘉津彦

かねてより準備を進めて来た第14回法人会全国青年の集い「福島大会」が郡山ビックパレットにおいて十月二十七日開催されました。

登録者は約二千百名。部会長サミット、各分科会、そして式典と県内各会員それぞれの部所で大忙しでした。

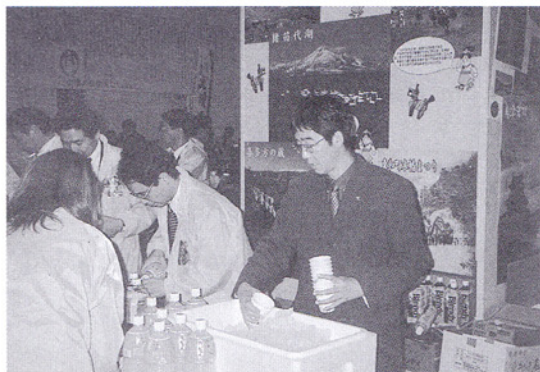
さて、我々相双支部は物産展の担当。会場のレイアウト、各



部会員さん、大同さん ごくろうさま!!

出展業者との打合わせ等々、当日が近づくにつれ、あれもこれもと不安がよぎる数日間でした。

又、今回過去の物産展と大きく異なったことは、大会記念品の替わりに物産引換券を発行し、お好みの商品を一定金額内で選んでもらうというものでした。これはお仕着せの物を差上げるよりも大変喜ばれ、登録者はほとんどが交換していかれた。全体の売り上げも約一千万円近くになり、地場産品のPRという面でも大きな収穫でした。



部会長自らジュース作り!!

一方、7月に刊行された「相双見聞録」も部会長サミット、各分科会の出席者全員に配布をし、全国の皆さんに相双を知ってもらおう一端になったと思います。

何はともあれ、メンバーはもちろんのこと親会、婦人部会、事務局、大同生命の皆様方のご協力により無事全国大会を終了出来たことをあらためて感謝申し上げます。



大好評試食コーナー!!



他県からも出展



青年部



葛尾村に豊かな自然を生かした
森林公園「もりもりランド」が誕
生しました。
すでにご利用の方もおられると
思いますが、広い園内には二十区
画のオートキャンプ場十八区画の
キャンプ場をはじめ、マウンテン
バイクコース、バーベキューハウス、
フィールドアスレチックコース、遊
歩道、ちびっ子広場、そしてシャ
ワー、トイレ、売店、レンタル用
品などを完備した管理棟があり、
大自然の中で本格的なアウトドア
ライフを楽しむ事ができます。
春になったら、ご家族や友達と
ぜひ一度体験してみませんか！

葛尾の新名所 もりもりランド かつらお



美しい自然の中の マルチメディアプロジェクト katsurao

豊かな自然と伝統が残る葛尾村
は、郷土食を次の世代へ引き継ぐ
ことにも積極的です。その一つの
あらわれが「おふくろフーズ」で
す。葛尾特産の「凍みもち」をは
じめ真空パックの各種「生もち」、
季節限定の「たけのこ缶詰」、「煮
豆・水煮豆」、「揚げもち」に加
えて現代風にアレンジした「そば・
かぼちゃ・ほうれん草のクッキ
ー」などお母さん方の自然食にか
ける意気込みが伝わってくるも
のばかりです。



葛尾村特産品

また、葛尾は世
界で初めて全戸に
テレビ電話を設
置、在宅での健康
管理システムとテ
レビ電話診察をス
タートさせていま
す。教育分野での
インターネット活
用を含めマルチメ
ディア活用による
住みよい地域づく
りが近未来では無
く、今実際に行わ
れています。



もりもりランド・葛尾村特産品についての

お問い合わせは

TEL.0240-29-2111 FAX.29-2123

E-mail:katsurao@katsurao.ne.jp

テレビ電話.0240-37-4055

葛尾村ホームページURL <http://www.katsurao.org>

編集後記

人類の歴史でこんなに大きな
変化のあった百年はなかつ
たのではないのでしょうか。

そんな二十世紀もあと残す
ところ二週間足らず。新しい
世紀に入ろうとしています。

今年一年だけをとっても国
会では内閣不信任案の採決を
巡る泥仕合。四週間にわたつ
てダッジロールしたアメリカ
大統領選挙、感動と挫折を同
時に味わったシドニー五輪、
そして日々進化するIT革
命・・・などなど。

この一年だけでも書ききれ
ないほどの多くの出来事。

たった十年前にインターネ
ットの存在や携帯電話の普及
をここまで予測出来た人はど
れだけいたでしょう。

さて、来るべき二十一世紀
は私たちにとってどんな世紀
になるのでしょうか。

期待と不安が入り交じり、
ちよっと複雑な気持ちです。

最後になりましたが、本年
三月、ご逝去になられました
相双法人会広報委員長渡部悦
孝様のご冥福をお祈りいたし
ます・・・合掌